

(一社)東京建築士会 女性委員会 公開シンポジウム
使い継がれる集いの空間
大学セミナー・ハウスを起点として



本館 2024年 撮影:北田英治

「大学セミナー・ハウス」の設計および建設の過程から今日に至るまでの約60年間でどのように使い継がれてきたのかについて、ぐるぐるつくる大学セミナー・ハウス実行委員として尽力されてきた方々にお話いただきます。日頃は異なる分野にいる4人の登壇者の異なる視点の話を伺い、これからの社会において私たちが実現していきたい「集いの空間」について皆さんと考える場とします。

登壇者・講演テーマ

齊藤 祐子 氏

『創設期の設計から、つくり続けた60年』



U研究室アトリエ模型を囲んでディスカッション(1963年)

田中 茂 氏

『愛される建築を使い続ける活動20年』



ワークキャンプで階段をつくる(2017年)

志岐 祐一 氏

『使い継がれる団地たち』



団地初の登録有形文化財・URまちとくらしのミュージアム

北田 英治 氏

『まちのかお、今帰仁村と宮代町から』



沖縄県今帰仁村中央公民館(2023年)撮影:北田英治

シンポジウム

2025年4月19日(土)
14:00開場 14:30~17:00

定員:現地参加 70名

WEB参加 200名(Zoom)

会場:早稲田大学西早稲田キャンパス
62号館W棟1階大会議室A・B

大学セミナー・ハウス見学会

2025年5月11日(日)
13:15集合 13:30~16:00

定員:20名

講師・案内役:齊藤 祐子 氏
集合場所:図書館セミナー室

【参加費】

シンポジウム+見学会(CPD:4単位)
会員3,000円/一般5,000円/学生1,000円

シンポジウムのみ(CPD:2単位)
会員2,000円/一般3,000円/学生500円

- ・金額はいずれも消費税を含みます。
- ・見学会の参加料は保険料を含みます。
- ・見学会へのご参加ご希望の方は、「シンポジウム+見学会」へお申し込み下さい。
- ・シンポジウムは申込者限定でアーカイブ映像を後日配信予定です。

【申込方法】

参加をご希望の方は、右のQRコードまたは下記URLよりお申込みください。
(申込バッチ 4月17日)



<https://20250419syposium.peatix.com>

主催 一般社団法人 東京建築士会

協賛 早稲田大学 建築学科 中谷礼仁研究室
大成建設株式会社

協力 公益財団法人 大学セミナーハウス
後援 一般社団法人日本建築学会
公益社団法人日本建築家協会関東甲信越支部
一般社団法人東京都建築士事務所協会
公益社団法人日本建築士会連合会
企画 一般社団法人東京建築士会女性委員会

【注意事項】

- ・シンポジウムの撮影、録画、録音はご遠慮ください。
- ・大学セミナー・ハウス見学会での、個人の記録のための建築物の写真・動画撮影は可能ですが、SNSヘレクチャー内容を詳しくアップする行為はお控えください。
- ・CPDの単位付与は当日出席が確認できる方に限ります。
- ・個人情報の取扱:本申込に記載いただいた情報は適切に管理し、本企画の運営及び東京建築士会が開催するイベントの案内・照会の為に利用する場合があります。

大学セミナー・ハウスは、今年、開館60周年を迎えます。設立提唱者である飯田宗一郎氏は、マスプロ教育が行われている日本の大学に疑問を持ち、国公立の大学をつなぐ教育の場、また、教師と学生の心の交流をはかり、寝食をともにしながら議論し学ぶ、合宿研修センターのような施設をつくりたいと願い、多くの大学、経済界の人々の賛同、協力を得て、大学セミナー・ハウスの設立に至りました。“セミナーハウス”は飯田氏の造語ですが、その夢を形に、自然の中で学び集う建築を設計したのは建築家・吉阪隆正氏(1917～1980)と、吉阪氏主宰のU研究室のメンバーです。「大地に知の楔(くさび)」をコンセプトとした本館は、建築としての評価も高く、1999年に「日本におけるモダン・ムーブメントの建築No.019」として、DOCOMOMO Japanより選定されました。2017年3月には「東京都選定歴史的建造物」にも選定されています。

登壇者紹介



齊藤 祐子 (さいとう・ゆうこ)

サイト一級建築士事務所/アルキテクト事務局

1954年埼玉県生まれ。1977年早稲田大学理工学部建築学科卒業後、U研究室入室、〈大学セミナー・ハウス、国際セミナー館〉屋根の絵などを担当。1985年七月工房、1989年空間工房101を共同で設立、1995年サイト一級建築士事務所設立。作品に〈大学セミナー・ハウスやまゆり〉〈浦和実業学園UJホール〉ほか住宅多数。主な著書に『吉阪隆正の方法』、『集まって住む終の住処』ほか。「ぐるぐるつくる大学セミナー・ハウス」実行委員。「アルキテクト」事務局として、吉阪隆正の関連書籍編集、展覧会企画協力などを行う。



志岐 祐一 (しき・ゆういち)

日東設計事務所

1966年鹿児島県生まれ。1990年東京都立大学工学部建築工学科卒業後、スベック、ベル・コムーネ研究所を経て、2000年より日東設計事務所。1996年の同潤会代官山アパートを皮切りに、晴海高層アパートなどを調査。住戸を移築復元した集合住宅歴史館は2023年に移転拡張しURまちとくらしのミュージアムとして公開中。共著に『奇跡の団地阿佐ヶ谷住宅』、『世界一美しい団地図鑑』、『スターハウス戦後昭和の団地遺産』など。保存に関わった同潤会アパートの多くが失われた後、存続に揺れていた阿佐ヶ谷住宅で齊藤祐子らに出会い、ぐるぐるつくる大学セミナー・ハウスの活動に加わる。



田中 茂 (たなか・しげる)

ぐるぐるつくる大学セミナー・ハウス実行委員

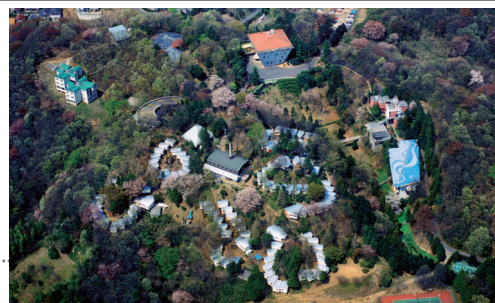
1972年静岡県清水市(現・静岡市)生まれ。2003年早稲田大学芸術学校建築設計科卒業。2021年より放送大学教養学部情報コース在学中。都市再開発コンサルタント、建築設計事務所、BIMコンサルタントを経て、2016年から竹中工務店に在籍しBIM・CDE関連の業務に従事。2004年吉阪隆正展「頭と手」で1/50セミナー・ハウス油土模型製作に参加。2006年より「ぐるぐるつくる大学セミナー・ハウス」実行委員として活動中。



北田 英治 (きただ・えいじ)

北田写真事務所

写真家。1950年鳥取県生まれ。1970年東京写真短期大学(現東京工芸大学)技術科卒業。1980年代から人の暮らしの場所を求めて世界を旅する。主な著書に『サレジオ』『ル・コルビュジェのインド』『DISCONT:不連続統一』『象設計集団:空間に恋して』など。主な写真展に「エッジを歩く」「東チベット紀行」など多数。現在季刊『茶柱探検隊』に〈巷路不錯〉〈ペーハ小屋のある風景〉を連載中。夏目坂写真塾塾長。「ぐるぐるつくる大学セミナー・ハウス」実行委員。



1990年の空撮(提供:大学セミナー・ハウス)

シンポジウム会場

早稲田大学西早稲田キャンパス
東京都新宿区大久保3丁目4-1
62号館W棟1階大会議室A・B



大学セミナーハウス

アクセス情報はこちら↓

東京都八王子市下柚木1987-1

見学会
集合場所 図書館セミナー室



地図に残る仕事。



大成建設グループ

大成建設 大成ロテック 大成有楽不動産 ビーエス・コンストラクション 大成ユーレック
大成設備 成利リニューアルワークス 大成有楽不動産販売 大成建設ハウジング 佐藤秀 他

